

発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査の報告について

8月12日付けで東北経済産業局から出された報告徴収に基づき、本日、配管肉厚調査対象部位数、検査実施数、今後の検査実施計画などについて東北経済産業局長に報告いたしました。

東北経済産業局への報告の概要は、以下のとおりです。

1. 調査対象ユニット

新地発電所第1号機、第2号機

2. 配管肉厚調査対象部位の検査実施数等（PWR2次系配管肉厚の管理指針を準用）

	1号機	2号機
調査対象該当部位数	841	772
既検査実施部位数	41	41
検査未実施部位数	800	731

3. 検査未実施部位に対する今後の検査実施計画

偏流が発生しやすいオリフィスや弁の下流部については全数、また比較的偏流の発生程度が小さいと考えられるエルボ部やT字型配管については、代表個所を選定の上、肉厚測定を行い健全性を確認します。

	1号機	2号機
検査未実施部位数	800	731
今後の検査部位数	84	82
代表部位による健全性評価部位数	716	649
今後の検査時期	次回定期点検 (平成17年3月～)	今回定期点検 (平成16年9月～)

4. 検査実施までの作業員等の安全確保対策

発電所で働く作業員等の安全確保を最優先に、検査未実施部位の近くは健全性が確認されるまで立入制限区域として区画し、関係個所に文書で周知徹底します。また、立入が必要な場合には管理者が安全を確認の上、許可するなど安全対策を徹底します。

以上